

関係者各位

平成 30 年度環境地水技術セミナー開催案内

平成 30 年 9 月 28 日

一般社団法人環境地水技術研究会

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-14

連絡先：〒285 6858

千葉県佐倉市ラーカリーが丘 1-2-10

TEL：043-375-2245

携帯：090-2416-2250

E-mail: npo-asrct@ac.auone-net.jp

<http://www.kankyo-chisui.com/>

平素は当研究会の活動にご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

今年も豪雨、地震による大災害が各地を襲い、西日本や九州地方において多くの尊い人命が奪われました。被災された方々の一日も早い復興を祈念します。

世界の自然災害のうち一番多いのが洪水による被害とされています。我が国も長い年月をかけ洪水被害を防ぐためのダム、河川、下水道などインフラ整備を進めてきました。

近年、国は「水循環基本法」「雨水利用促進法」を制定、施行しました。また内閣府に水循環政策本部を置き、国内30流域の「流域水循環計画」を認定しています。その計画の多くに「貯留浸透施設の整備・促進」を掲げています。今世紀は水と環境の世紀ともいわれていますが雨水対策も時代と共に変革、現代社会は従来の排水手法に加えて、流域の自然サイクルや生態系に極力配慮した環境調和型の洪水対策を求めている証と言えます。

当研究会は、「土壌への雨水浸透」をキーワードに、速やかに全て排水から緩やかに土中に還し貯留する本来自然界で繰り返された正常な水循環に戻すことを目的に雨水浸透技術を研究、実践した施設の効果検証結果を基に環境地水技術の普及、啓蒙活動に努めている非営利団体です。

今年度も活動の一環として、各分野にてご活躍の先生方にご協力頂き、別紙要領の技術セミナーを計画、開催しますのでご案内申し上げます。

ご多忙と存じますがご検討の上、ご参加賜れば幸甚です。

※お問い合わせ、及びご参加を希望される方は当研究会の HP の Web、又は E メールにてお願い致します。（先着60名様にて締め切りとさせていただきます）

※ご参加を申し込みされた方には、メールにて受付番号を送信します。

当日、受付にて受付番号をご確認の上、資料をお受け取り下さい。

※非営利活動市民の皆様および団体メンバー様、印旛沼流域水循環健全化会議浸透 WG メンバー様、行政関係者様は参加費無料です。

平成 30 年度環境地水技術セミナー

期日：平成 30 年 11 月 13 日（火曜日）

場所：千葉市中央コミュニティセンター

会場：5F 視聴覚室

住所：〒260-0026 千葉市中央区千葉港 2-1

電話：043-245-5724（代表）

受付：AM 9:20~9:50

開会挨拶

午前の部

1. 講演：9:55~10:40

演題：「手賀沼、印旛沼流域の湧水と生物の現状」について

講師：堀田和弘（元千葉敬愛短期大学学長・酒々井町「青樹堂」名誉塾長・当研究会相談役）

2. 講演：10:45~11:30

演題：「都市型水害と治水対策」について

講師：齋 強志（一般社団法人環境地水技術研究会理事）

3. 講演：11:35~12:20

演題：「人類・地球の可能性に見る“健全な水循環”回復への取り組み」について

講師：長谷川 泰彦（一般社団法人環境地水技術研究会理事）

昼食タイム 12:20~13:30

午後の部

4. 講演：13:30~14:15

演題：「雨水貯留浸透における環境地水学的諸問題」について

講師：宮崎 毅（東京大学名誉教授・日本学術会議連携会員・当研究会学術委員長）

5. 講演：14:20~15:05

演題：「市街地面源負荷削減対策としての雨水調整池の効果」について

講師：二瓶 泰雄（東京理科大学理工学部土木学科水理研究室教授）

休憩 15分

6. 講演: 15:20~16:05

演題: 「ディスクパーミアメータ (負圧浸入計) を用いた土壌の透水速度試験法」について

講師: 西村 拓 (東京大学大学院環境地水学研究室代表教授)

7・質疑応答 16:05~16:25

閉会 16:30

会場の案内図



アクセス

千葉市中央コミュニティセンター 交通案内

※千葉都市モノレール「市役所前」駅下車。

改札を出て左側の建物の4階に受付がございます。(徒歩1分) 1階に〒郵便局。

※JR千葉駅・JR千葉みなと駅・京成千葉駅からは徒歩10~15分です。

※当センターが管理・運営する駐車場はございません。

公共交通機関をご利用ください。

第 6 回

平成 30 年度環境地水技術セミナー

平成 30 年 11 月 13 日

テーマ：健全な水循環の構築に向けた取り組みと課題

講演概要

午前の部

現代社会の抱える水問題と流域の水環境の現状。都市型水害と治水対策施設。水循環基本法に掲げる健全な水循環の維持・向上に向けた取り組み。治水環境工法を用いた環境調和型雨水流出抑制施設等について各先生方の実践された事例とデータを交えご講演頂きます。

1. 堀田 和弘先生：「手賀沼、印旛沼流域の湧水と生物の現状」について。

手賀沼、印旛沼流域の湧水地の減少と水質変化の要因はなにか、過去、現在の状況を比較、水環境の変化は流域の生物にどのような影響を与えてきたか。調査データを基に解説。他

2. 齋 強志理事：「都市型水害と治水対策」について。

都市型水害に対する首都圏の動向や地方（静岡県）の都市化と都市型水害。水質の改善と水循環を考慮した雨水流出抑制対策。雨水浸透の基礎概念と治水環境工法について調査資料、事例を交えての解説。他

3. 長谷川泰彦理事：「人類・地球の可能性に見る“健全な水循環”回復への取り組み」について。

水循環基本法に掲げる健全な水循環の維持・向上を図るにはどのような対策が必要か。環境調和型の治水対策手法とは何か。初期雨水対策、濁水流出対策・防虫対策、土の浸透能力を知るための現地透水試験方法等について事例を交えての解説。他

午後の部

流域の健全な水循環の維持・向上の構築に必要な不可欠な土の貯留・浸透能力や地中での浸透水の動き。降雨の度に市街地から下水道、河川・湖沼に流出し水質を悪化させる土粒子や様々な汚濁物質の分離削減方法。地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法（雨水が土に浸透する速度を調べる試験方法の一つ。他に原位置透水試験方法は何種類もある）等について。

現状の水循環は課題も多く健全な水循環を回復するには課題を解決する必要があります。専門分野の先生方に課題解決に向けた取り組みと最新の理論・技術についてご講演頂きます。

4. 宮崎 毅先生：「雨水貯留浸透における環境地水学的諸問題」について

貯留槽からの横溢水浸透の予測理論、雨水浸透と地下水位変動の関係、浸透メカニズム、キャピラリーバリアー現象（斜面の異なる地層構造の境界面における浸透水の屈折現象）他、調査研究データを基に解説。

5. 二瓶 泰雄先生：「市街地面源負荷削減対策としての雨水調整池の効果」について

印旛沼流域水循環健全化会議みためし行動計画、市街地浸透ワーキングによる水質汚濁要因に関する調査検証結果やファーストフラッシュ現象の解析、既存調整池への流入水、流出水の濁度の比較、調整池改良後の汚濁物質分離効果等の解説。他

6. 西村 拓先生：「ディスクパーミアメータ（負圧浸入計）を用いた土壌の透水速度試験法」について。

地下水面より上の地表面までの地盤（不飽和帯）に、雨水が浸透する速度を調べる試験方法について。地盤工学会の制定した新基準、地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法（正圧・負圧）の解説。大気圧より僅かにマイナスの圧力（負圧）を用いる土の透水速度を測定する試験方法（ディスクパーミアメータ法）の測定理論と測定装置の構造解説。正圧を用いる試験方法の理論。負圧、正圧、各試験方法の特長等について調査研究データを基に解説。

以上。